平成２６年１２月４日

平成２６年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立西原小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには，「開かれた学校づくり」を推進し，学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があり，その上で，家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから，平成２６年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について，以下のとおり公表します。

また，調査結果は，学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので，調査結果の分析，指導の改善策などを併せて掲載します。

Ⅰ　調査の概要

１　目的

ア　国が，全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，各地域における，児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより，教育及び教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図る。

イ　各教育委員会，学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し，その改善を図るとともに，そのような取組を通じて，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

ウ　各学校が，各児童生徒の学力や学習状況を把握し，児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

２　調査期日　　平成２６年４月２２日（水）

３　調査対象　　第６学年　４５人

４　留意事項

・　本調査は，対象となる学年が限られており，実施教科が国語，算数の２教科のみであることや，必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから，本調査の結果については，児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。

・　平均正答率は調査結果のすべてを表すものではないが，これを一つの資料として本校の傾向や課題を分析するとともに，指導改善のポイントを併せて記載した。

Ⅱ　調査結果の概要

１　国語

【国語Ａ】

領　域　等	全国と本校の比較 ※	平均正答率（%）	
		宇都宮市	全国
話すこと・聞くこと	やや下回る	73.1	72.4
書くこと	やや上回る	70.8	72.2
読むこと	下回る	67.6	68.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	やや上回る	72.6	73.7

【国語Ｂ】

領　域　等	全国と本校の比較 ※	平均正答率（%）	
		宇都宮市	全国
話すこと・聞くこと	下回る	49.0	51.2
書くこと	やや下回る	33.8	34.4
読むこと	同程度	56.8	57.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	上回る	69.6	69.8

本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

・話合いの観点に基づいて情報を関係付ける問題に課題が見られた。国語や総合的な学習の時間などの話合いの場面で，出された観点と意見を関係付けるために図で分類したり，表にまとめたりすることができるよう指導していきたい。

・立場や意図をはっきりさせて討論することについては，司会のもつ重要な役割が理解できるように様々な教科での話合い活動で児童に司会を経験する機会を多く設け，その都度司会の役割を意識させるように指導を行っていくようにする。

【書くこと】

・Ａ問題の設問は，すべて全国平均よりも上回っていた。文や文章を論理的に整えて書くことは，今後も低学年から発達段階を踏まえた指導を行っていきたい。

・Ｂ問題の立場を明確にして質問や意見を述べることに関して課題が見られた。今後は，話し手の発言を自分の考えとの共通点や相違点を明確にして聞くことができるように指導していきたい。

【読むこと】

・新聞の投書や意見文で書き手の意図を捉えて読むことに課題があった。複数の投書を比べて読む指導を行っていきたい。文学的な文章の登場人物像や相互関係を捉えて読むことについては，読書の習慣の奨励を今後も行っていきたい。また，授業では物語の中心人物と主な登場人物との関係を図で表し整理する指導を行い，登場人物の相互関係を明確にして読む力を身に付けられるようにしたい。

・Ｂ問題の二つの詩を読み比べて表現の工夫を捉える問題は，全国の平均正答率より上回っていた。しかし，分かったことや疑問に思ったことを整理することや課題を解決するために効果的に本や資料を読むことに課題が見られた。今後は，調べ学習に関連する本や文章を効果的に読む指導を発達段階に応じて行っていく。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

・Ａ問題の漢字を書くことや故事成語の意味や使い方の理解については，全国の平均より上回っていた。今後も既習の漢字を文や文章の中で使うことができるよう指導していく。しかし，国語辞典を使って言葉の意味と使い方を理解することに課題が見られた。各教科等の学習や日常生活の中でも，積極的に国語辞典を利用するようにして習慣付けるように指導していきたい。

※「全国と本校の比較」について	上回る　…全国平均より5%以上，上回っている。 やや上回る…全国平均より5%未満3%以上，上回っている。 同程度　…全国平均との差が上下3%未満である。 やや下回る…全国平均より5%未満3%以上，下回っている。 下回る　…全国平均より5%以上，下回っている。

児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

・約９０%の児童が，国語の勉強は大切だと思い，８０%以上の児童が国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思っている。その他の国語に関する質問の肯定的回答率も全国より上回っている。基礎的・基本的な知識・技能を習得し活用できる力が身に付くように児童一人一人の学力・学習状況に応じた指導を行っていきたい。

２　算数

【算数Ａ】

領　域　等	全国と本校の比較※	平均正答率（%）	
		宇都宮市	全国
数と計算	同程度	80.8	81.8
量と測定	同程度	74.0	74.8
図形	下回る	72.2	71.8
数量関係	同程度	82.4	81.3

【算数Ｂ】

領　域　等	全国と本校の比較※	平均正答率（%）	
		宇都宮市	全国
数と計算	同程度	59.9	61.3
量と測定	同程度	55.2	56.5
図形	同程度	65.6	65.7
数量関係	同程度	54.2	56.2

本校の傾向と課題及び指導改善のポイント

【数と計算】
- 割合が１より小さい場合については，全国の平均正答率から見ても課題がある。問題場面から数量関係を正しく捉えるために数直線を用いて理解させたり，割合が整数の場合の計算の考え方を基にして，乗法の意味を拡張し理解を深めさせたりするよう指導を行っていく。
- 事象の数学的な解釈と表現の問題に課題があった。普段の授業から，日常の事象を算数の内容と関連付け，学習した用語を的確に表現できるように継続的に指導していきたい。

【量と測定】
- 単位量当たりの大きさを求める場面では，図から式へ正しく結びつけることができるよう指導していく。
- 問題の解決に必要な情報を選択し，根拠となる事実を関連付けて自分の考えを説明できるように日頃の授業で指導を繰り返し行っていく。

【図形】
- 作図の操作と図形の性質を関連付けて作図の意味を理解できるように，作図においてコンパスを用いる理由を話し合わせる活動を取り入れるようにする。
- 解決した結果や判断したことを振り返って確かめる活動を今後も行っていく。

【数量関係】
- 四則の混合した式の意味や□や△で二つの数量を表した式の問題は，全国の平均正答率より上回る結果となった。今後も，具体的な場面に対応させて事柄や関係を式に表したり，式の意味を考察したりする指導を行っていく。
- 目的に応じて表やグラフを選択して，表したり読み取ったり判断したりする活動は，算数の授業だけでなく他の教科の学習においても丁寧に指導を行っていく。

※「全国と本校の比較」について	上回る　…全国平均より5%以上，上回っている。 やや上回る…全国平均より5%未満3%以上，上回っている。 同程度　…全国平均との差が上下3%未満である。 やや下回る…全国平均より5%未満3%以上，下回っている。 下回る　…全国平均より5%以上，下回っている。

児童質問紙調査の状況及び指導改善のポイント

・約８５％の児童が，算数の勉強は大切だと思い，算数の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思っている。その他の算数に関する質問の肯定的回答率も全国より上回っている。今後も児童一人一人の学力・学習状況に応じた指導を丁寧に行い，基礎的・基本的な知識・技能を習得させ，それらを活用する力が身に付けられるようにしたい。